



津軽半島
浜小屋仕込み

津軽海峡冬景色でしか知らない、
夏でも寒々とした津軽半島。
でも、心は熱く、魚はめえぞー。

商品紹介

津軽半島浜小屋仕込み 取扱店

取扱店	電話番号
あおもり路 ラビナ店(青森市)	017-734-3255
青森ふるさとショップ アイモリー(青森市)	017-752-6228
あおもり北彩館 新青森駅店(青森市)	017-752-6161
アスパム物産 アスパム店(青森市)	017-734-4550
アスパム物産 空港店(青森市)	017-739-9888
A-FACTORY(青森市)	017-752-1890
津軽藩ねぶた村(弘前市)	0172-39-1511
弘前物産 パルシー(アプリーズ内)(弘前市)	0172-35-8180
弘前市立観光館 さくらハウス(弘前市)	0172-33-6963
金木観光物産館 マディニー(五所川原市)	0173-54-1155
立佞武多の館(五所川原市)	0173-38-3232
道の駅十三湖高原(五所川原市)	0173-62-3556
道の駅いまべつ(今別町)	0174-31-5200
蟹田駅前市場 ウェル蟹(外ヶ浜町)	0174-31-1112
青函トンネル記念館(外ヶ浜町)	0174-38-2301
龍飛崎観光売店 あっちゃんの店(外ヶ浜町)	0174-38-2966
龍飛崎温泉ホテル竜飛(外ヶ浜町)	0174-38-2011

※2016年3月現在

商品取扱のお問合せ: 株式会社富士清ほりうち 特販課

電話: 017-739-1234

企画・発行: 青森県東青地域県民局

(「津軽半島浜小屋仕込み」運営協議会事務局)

電話: 017-734-9412

<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/seisaku/hamagoya-jikomi.html>



陸奥湾、津軽海峡、日本海。
三つの海の恵みを、浜小屋仕込みの
素朴な技で、とにかく「メガラケ」
プレゼントするときの合言葉。
「メ」は「うめえ」、「ケ」は「食え」。
「おいしいから食べて」
という意味の津軽弁です。

三つの海に囲まれた半島

津軽半島は、陸奥湾、津軽海峡、日本海という3つの海に囲まれた半島です。海沿いに点々と続く漁村は過疎化に直面していますが、人々はたくましく、一旦うちとけると底抜けに温かい人々です。実はこの半島からは、1万6千5百年前の、世界最古級の土器が出土しています。アイヌ民族を経由した北方交易の歴史も長く、人々は海とともに連綿と生き続けてきたのです。

浜小屋の味、原点の味

海辺の道で印象的なのは、用途も大きさもさまざまな浜小屋です。漁師はみな、こうした浜小屋で漁船や漁具の手入れをし、収穫の加工をし、獲れたて・作りたての海の幸・湖の幸を味わいながら、仲間と語り合います。それは、本社工場であり、男の城であり、少年たちのあこがれの秘密基地なのです。
津軽半島浜小屋仕込みは、そんな浜小屋の味を小分けにして、旅行者にも味わってもらおうという商品群です。厳しい自然環境の中、昔ながらの手仕事で技と味わいを磨いてきた、日本人の原点の味です。